

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和07年06月18日(水)

1. 基本事項

施策		農畜産物の販売流通体制の充実	期間	令和5年～令和9年	施策担当部署名	産業振興部 農業振興課
総合計画	大項目	3 活力とにぎわいにあふれるまち	目的・対象			消費者の信頼性を高める取組を行うとともに、生産者の顔が見える安全・安心な農畜産物の販売、流通を促進し、深谷産農畜産物が市外の消費者に広く浸透するよう、各種メディア等を通じたPRを行うことにより、深谷産農畜産物の認知度向上及び販路拡大を推進する。
	中項目	1 農業のブランドを高め伝えるまちづくり				
	小項目	2 農畜産物の販売流通体制の充実				
	主要プロジェクト					
重要度・満足度	重要度及び満足度の双方ともに高い。		施策推進のための主な取組	農産物安全安心対策事業、畜産振興対策事業 農産物振興対策事業、特産物PR事業 深谷グリーンパーク管理運営事業		
施策を取り巻く社会状況等	食の安全・安心に対する関心や地産地消の意識が全国的に高まっており、消費者の期待に応える形での農畜産物の販売、流通が求められている。					

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			農業産出額	億円	356.00	319.00	329.00	339.00
	農林水産省・市町村別農業産出額（推計）		288.80	288.20	307.20			
成果指標	市外の店舗で深谷産の農畜産物の販売を目にする機会がある割合	%	57.10	60.00	60.50	61.00	61.50	62.00
	深谷市民まちづくりアンケート		59.40	60.90	60.10			

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>農作物の生産は気象状況等により大きく生産量が変化するが、暑さや寒さに強い品種等の開発や生産者が気象状況に配慮し生産したことで全体的な産出額の増加に繋がったものと考えます。</p> <p>また、これまで同様産業祭や農業王国ふかやマルシェを開催し、市民に向けてPRを実施したが、アンケートは前年とほぼ同様の結果であった。市民が地元農産物に興味を示すよう工夫してPRする必要がある。</p>				
			評価者	農業振興課長 黒澤 敦

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	昨今の気象状況や資材の高騰等、生産経営を取り巻く状況は引き続き厳しい状況が続いている。生産する農作物に付加価値を与え、よりブランド力を高められるようGAP認証取得の支援を実施している。今後は、GAP認証以外にも特別栽培農産物等安心安全な農作物の生産に対する支援を検討していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>既に全国的にも一定の知名度を持つ深谷ねぎの他にも、2026年度指定野菜に追加予定となっており、生産額、作付面積、経営対数が市町村別で全国1位となっているブロッコリーの他、トウモロコシやきゅうり等様々な農産物の生産が深谷市では盛んに行われている。市民が地元の農作物により注目するよう産業祭、農業王国ふかやマルシェといったイベントを引き続き工夫しながら実施していくとともに、農作物のブランド力向上のためにどのような支援ができるのか検討していく必要がある。</p>	
所属長	産業振興部長 三浦 聖樹